（第3種郵便物認可）　614(2003) 2.14(金)　西日本新聞（夕刊）

WE

ht

に食べてもらおうと思いました。その中のひとつを彼が食べて喜んでくれれば、と。

お菓子作りが得意な友達の家に前日は泊まり、数時間かけてなんとか作りました。当日、学校に持っていくと、私たちがチョコを作ったことを

バレンタインデーは、女の子が好きな男性に告白する日。その日はドキドキするはずが、クラス中の男女に試食してもらったような日でした。結局、告白どころではなかったせいか、友達の家でみんなでお菓子を作ったことの

音楽

昨日、久留米の石橋文化ホールに、第14回市民大合唱というコンサートを聴きに行ってきました。プログラムは第1部久留米児童合唱団によるヨーロッパ民謡集、第2部ムジカ・ソナーレ・アン

が、これは公募によった130名の女性合よる演奏でした。男性が少ないために混声4の曲を女性3部合唱にたものを使って練習をとのこと。

伴奏はオルガンとピ

地域で子育て

古川アンビシャス広場（福岡県筑後市）

若者も加わり 行事盛り上げ

もともと古川小校区内の北長田地区では、伝統行事や書道教室で地域の触れ合い運動を進めてきました。そんな取り組みを校区全体で推進しようと、昨年七月から北長田公民館を拠点にアンビシャス広場を始めました。今は古川小約百二十人と筑後中約九十人が参加しています。

特徴は、保護者らでつくる約四十人の推進委員の中に高校生や大学生のボランティアも参加している点です。

子どもたちの年齢に近いだけに、各種イベントの中心になって盛り上げてくれる頼もしい存在です。

年間の行事としては、お盆すぎの地蔵盆や、地域のお年寄りや子どもたちが参加してのしめ縄作り、年明けの火祭り「左義長（さぎっちょう）」、野外キャンプなどを開いています。だんご汁などの料理をともに作って、交流を深める貴重な時間です。

私が住職をしている林鐘院ではＩＴ教育として、中学生を対象にパソコン教室を毎週金曜に開いています。近くの広場には、バットやサッカーボールを収納したロッカーを置き、子どもたちがいつでも遊べるようにしています。

子どもたちが積極的に触れ合える場を大人たちが提供することが大事。年齢に関係なく顔見知りになり、放課後などに一緒に遊ぶようになれば、非行の防止にもつながると思います。これからも温かみのある地域づくりのお手伝いをしたいと思っています。

（古川アンビシャス広場委員会・三宅明信委員長）

視線

子どもから

漢字で書けるよ

神社の広場にある木造の北長田公民館に小学生から高校生まで約二十人が週一回集まる。三十年近く続く書道教室。子どもたちの生き生きとした表情は昔から変わらない。

板張りが汚れないようにシートを敷き、長机を並べる準備を子どもたちが手伝う。課題の書を見せ合って喜んだり、上級生が筆の使い方を教えたり…。ほのぼのとした雰囲気に包まれている。

「お兄ちゃん、お姉ちゃんが優しく教えてくれて、書道が好きになった」。小学二年の近藤義宗君（八）は漢字で名前も書けるようになって得意げだ。

小学一年から通っている高校三年の古賀千晶さん（一八）は「下級生と接する機会が多いからか、同級生に『面倒見がいいね』とよく言われます」。四月からは、福岡市の専門学校に通いながら続けるという。

「うまく書けてる」「もう少し頑張ろう」。指導する主婦轟由香さん（三九）が励ます。「自分にとっても、ほっとする場所。気持ちが若くなりますよ」と笑った。

30年近く続く伝統の書道教室